

NEW DENTAL SALON

トピック

「歯と口の健康週間」表彰式

令和4年度下都賀・小山歯科
医師会合同医療安全講習会

歯科医師会と私

庄野 節子 先生

これからよろしく

辻 篤志 先生

業者からの耳より情報

株式会社 アマガイ

編集後記

最近、歯科系雑誌を拝見すると、日本の高齢化社会に対する内容が多く感じられます。いまや、日本は2010年に超高齢化社会（高齢化率21%）を迎え、2036年には3人に1人が65歳以上になると言われています。現在、8020の達成率は約50%に留まっており、高齢者化に伴うオーラルフレイルの問題は無視できないように感じます。咬合構築だけでなく、咀嚼、嚥下、栄養指導等、高齢者が食事に関わるすべての事へ歯科医師が携わる時代になってきているのではないのでしょうか。

広報担当理事 峰野友良

ネット配信広報誌第14号 2022年春夏

「歯と口の健康週間」 表彰式を開催

令和4年6月5日（日）10:00～11:00栃木グランドホテル鳳凰西の間にて、令和4年度「歯と口の健康週間」表彰式を開催しました。

コロナ禍において一昨年、昨年はポスター・標語・作文の募集・審査を行いました。今年度は中止でしたが、3年ぶりに表彰式を開催しました。



感染対策として受賞者29名のところを10名、保護者つきそいは各々につき1名まで…など出席人数を最小限にし、開催時間短縮、また会場は例年の約2倍の広さの会場にしました。

当会から例年は会長・学校歯科委員会担当理事・委員長・副委員長の4名が参加していましたが、今年は会長・理事・委員長の3名で参加してきました。なお、前期担当理事だった山井先生にはオブザーバーとして準備をお手伝いいただき、とても助かりました。

下都賀教育事務所の白井誠副主幹の司会進行でよい歯の児童生徒代表、ポスター・標語・作文の最優秀賞受賞者の表彰を行いました。ポスターと標語は会場後方に展示、作文は最優秀賞を受賞した3名の児童、生徒に朗読してもらいました。同じような傾向の作品も多々見られましたが、小学生や中学生が描いたと思えないような大胆な色彩や画力のポスター、世事と歯磨きをうまくからめた標語、豊かな表現力にあふれた作文など、なかなか優秀な作品が集まりました。

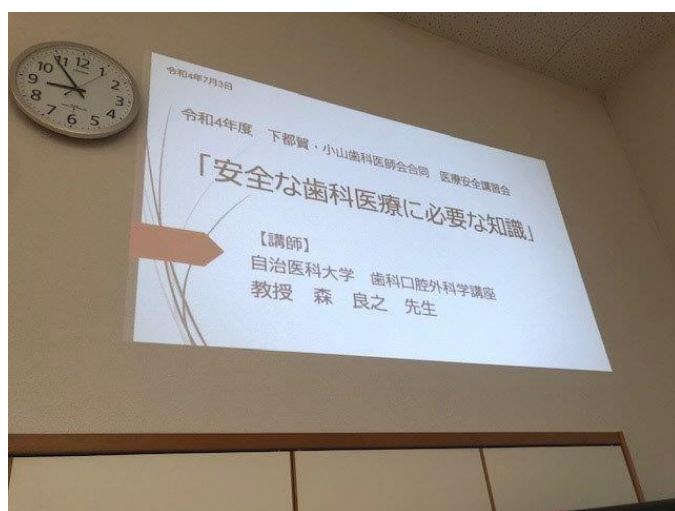
当歯科医師会及び行政サイドも新体制での表彰式開催だったので、いろいろと不安要素もあったのですが、無事に開催できてほっとしています。受付・表彰の際の介添え・写真撮影など…どんっと座ったままとはいかず、あわただしく時間が過ぎ、あっという間に終了した気がします。でもコンパクトな表彰式はとてもよかったです。



学校歯科委員会担当理事 添野圭子：記・写真

令和4年度下都賀・小山歯科医師会 合同医療安全講習会開催

令和4年7月3日(日曜日)小山医療介護総合支援センターにて令和4年度下都賀・小山歯科医師会合同医療安全講習会が午前9時45分より開催された。



新型コロナウイルス第7波感染拡大が広がる直前ではあったが、出席された先生方全員のマスク着用、検温・手指消毒、及び参加された先生方全員の事前登録制、指定席・番号札配布によるソーシャルディスタンスの確保、会場内の定期的な換気などの感染予防対策の徹底をおこない、また、今回の講習会は「歯科外来診療の院内感染防止対策に係わる研修」「偶発症に対する緊急時の対応、医療事故対策等の医療安全対策に係わる研修」でもあった為、参加人数147名と多くの先生方にご参加頂

いたこともあり、ソーシャルディスタンス確保の為に、会場を3つに分散し、各会場共に、スクリーンプロジェクターを用いておこなわれた。

講師には、自治医科大学医学部歯科口腔外科学講座教授、森 良之先生をお迎えし、演題として「安全な歯科医療に必要な知識」について御講演頂いた。

今回は1.歯科治療中の偶発症とその対応

2.医療安全管理と医療事故

3.歯科医院における感染対策

と3つにテーマに分けてお話し頂いた。

まず、1.歯科治療中の偶発症とその対応では、過換気症候群の対応処置として、現在の対応は、ゆっくり呼吸をさせ落ち着かせること、緊急時の一次救命処置(BLS)では、現在では胸骨圧迫(Circulation)気道(Airway)呼吸(Breath)C→A→B であることなど、偶発症への対応処置は常に変化している為、日々新しい情報のバージョンアップを図り、情報を取り入れる必要性についてお話されていた。





2.医療安全管理と医療事故では、医療事故と医療過誤は、どのように異なるのか、また、そもそも医療行為とは何なのか、など我々医療従事者の心底の医療倫理の重要性についてお話された。

3.歯科医院における感染対策では、歯科治療における感染予防の基本や歯科診療における感染対策、また、新型コロナウイルスワクチン接種における局所麻酔下での抜歯実地可能日数間隔の減少などについてのお話があった。

今回、御講演して頂いた3つのテーマ全ては、我々、歯科医師が、より安心して安全な歯科診療行を患者さんに提供する為に、非常に重要な内容のものであり、日々の歯科診療において決して忘れてはいけないことである。

ご多忙の中ご講演頂いた、森 良之教授に深く感謝申し上げ、報告する。



小山歯科医師会担当理事 内海 仁志 記・写真

広報担当理事 峰野 友良 編集

歯科医師会と私

庄野 節子



私が下都賀歯科医師会に入会したのは昭和58年のことです。当時、県歯科医師会の下都賀支部長を現新井先生のお父様がなさっておられました。私の父が会員でしたので先輩の先生方にもよく声をかけていただきありがたかったです。また、年代が近い先生が多かったのですぐうち解けられたように思います。当時は月例会があり結構集まる機会が多く、会員の先生方とのコミュニケーションも取りやすかったと思います。何十年も前のことですが支部旅行で沖縄にいったことが今でも楽しく思い出されます。昼はゴルフ組と観光組とに分かれて行動し、夜は皆様と沖縄料理に舌鼓をうちました。

現在は会員数も増え、考え方も変化しコロナ禍でもあり、なかなか以前のようには戻らないと思いますがたまには先生方とお会いできると嬉しいと思っています。

歴代の支部長、会長そして役員の先生方には診療でお疲れの所、歯科医師会のために一生懸命ご活躍いただき深く感謝いたしております。これからも下都賀歯科医師会のますますの発展を心から願っております。

業者からの耳より情報

株式会社 アマガイ

院内の感染リスクをゼロへ。

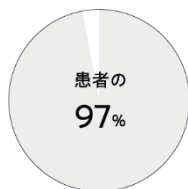
健康のためにたくさんの人が集まる歯科医院。

だからこそ、感染リスクを可能な限りなくす歯科治療機器が、いま求められています。

「Free Arm SHI-TECT」は、時代の変化を見据えて進化をとげた口腔外サククション。

歯科医院の空気環境づくりに取り組んで半世紀以上の実績を誇る東京技研が、

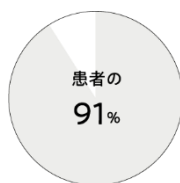
自信をもってご提案するトータルシステムです。



歯科医院に通ったことのある97%の人が、感染リスクの対策をしている歯科医院を選びたい。

*ゼネラルリサーチ社調査による2022年7月調べ

【口腔外用サククション】フリーアーム・シーテクト



歯科医院に通ったことのある91%の人が、飛沫を吸引する機器があれば使用したい。

*ゼネラルリサーチ社調査による2022年7月調べ



歯科医師の98.5%がフリーアームによって、医師、スタッフ、家族の安心に繋がったと回答。

*自社既存ユーザーへのアンケート調査による2022年7月調べ



スタイリッシュに院内を引き立てるデザイン。
感染対策はもちろん、操作性、静音性、すべてを進化させた

第7世代フリーアーム。

- ・アームの自在な動きを実現する、新開発の7つの関節。
- ・いちばん手に触れるグリップを着脱、滅菌を可能に。
- ・LEDライトも、吸引も、ワンアクションのスイッチで可能に。
- ・吸引駆動時にも患者さまとの会話を妨げないよう、静音性がさらに進化。
- ・新たにクリーニングモードを搭載。リモコンひとつで院内の空気浄化と感染対策。

一般的名称：歯科用吸引装置

販売名：フリーアーム・シーテクト

医療機器認証番号：304AHBZX00013000号(管理医療機器)

[医療機関向け空気浄化装置] メディカルライトエアー



「MEDICAL LIGHT AIR」は、
ウイルス除去率最大 99.95%を誇る
医療機関向けの空気浄化装置。あわせて導入いただく
ことで、
空気感染対策、飛沫感染対策を万全なカタチにするこ

とができます。

[お問合せ]

株式会社アマガイ

〒321-0925 栃木県宇都宮市東築瀬1丁目30番8号

TEL : 028-637-8611 / FAX : 028-637-8666

これからよろしく

辻 篤志

はじめまして、宜しくお願いします！

平素大変お世話になっております、自己紹介を依頼されましたので、紹介状の定型文から始めさせていただきました。アルッテ歯科クリニックの辻 篤志と申します。(精一杯のユーモアです。)

自己紹介を簡単にではありますがさせていただきます。

私の出身は鳥取ですが高校は岡山へ進学しました、高校卒業後は大学と縁がなかったせいか、はたまた受験勉強好きのせいか京都で浪人をして、やっとこさ日本大学松戸歯学部(37期)へ入学しました。

大学では少林寺拳法部(主将)、コーラス部、アニマルサイエンス部と兼部をしておりました。少林寺拳法部では最盛期に週5回の2部練習で精神と肉体を鍛えましたが、コーラス部では音痴は治せず、アニマルサイエンス部では焼き肉を研究し頻繁にお肉を食べていたせいか鍛えた肉体はあっという間にぶよぶよになってしまい、1年生のころ72キロだった体重が卒業するころには84キロまで増えてしまったという苦い経験もあります。



松戸へお越しの際は松竹園という昔ながらの焼肉屋さんでホルモンを食べるのがオススメです。（常磐線沿線にある黄色い看板のしちりんという焼肉屋さんもおすすめです）



それはさておき、現在は学生時代に出会った妻（旧姓：梁島）に引っ張られて壬生まで流れ着き、息子（5歳）と娘（1歳）を授かり、アルッテ歯科クリニックを開院いたしました。アルッテとはどんな意味ですかと聞かれることが多いのですが、これは関東～東北あたりで使われている「あるってく」という方言に由来しております。

医院の名前を決める時期にとっても忙しくパニックっており、貧すれば鈍するといいますが、つじ→つーじー→two G→2G デンタルクリニックはどうか！？いやいや、壬生の特産のかんぴょうにあやかってゆうがお歯科がいいんじゃないか？と迷走を続けながらも、患者さんと「歩んでいこう」という気持ちから今の名称に落ち着いた次第となっております。

ただのダジャレではありますが、患者さんには歩いて来たよ！と言ってもらいなかなか悪くない名前だったと（今のところは）確信しております。

くだらないことばかり書かせていただきましたが、医療にも歯科医師会の活動にも真面目に取り組んでいく所存でございます、至らぬ点も多いとは思いますが、何卒宜しく願いいたします。

